

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公開番号】特開2012-83545(P2012-83545A)

【公開日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-017

【出願番号】特願2010-229569(P2010-229569)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 505

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月8日(2013.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、電磁誘導によって被加熱部材を発熱させる加熱装置及び加熱装置を備えた画像形成装置に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、上記従来技術の問題を解決するためになされたものであり、その目的は、設計の自由度を高めて、被加熱部材の状態の検知精度を高めると共にコスト低減を容易にすることができる加熱装置及び加熱装置を備えた画像形成装置を提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するために本発明に係る加熱装置は、電流が流れることにより磁束を発生させるコイルと、磁性体で構成され、磁路を形成するコアと、前記コイルが発生させる磁束の作用により発熱する被加熱部材と、前記コアを挟んで前記被加熱部材の反対側の領域に配設され、前記領域を通る磁束を検知する磁束検知手段と、前記磁束検知手段の検知結果に基づいて前記被加熱部材の状態の変化の有無を判定する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

**【請求項 1】**

電流が流れることにより磁束を発生させるコイルと、  
磁性体で構成され、磁路を形成するコアと、  
前記コイルが発生させる磁束の作用により発熱する被加熱部材と、  
前記コアを挟んで前記被加熱部材の反対側の領域に配設され、前記領域を通る磁束を検知する磁束検知手段と、  
前記磁束検知手段の検知結果に基づいて前記被加熱部材の状態の変化の有無を判定する制御手段と、を有することを特徴とする加熱装置。

**【請求項 2】**

前記制御手段は、前記磁束検知手段の検知結果が判定用閾値を超えた場合に、前記被加熱部材の状態に変化が有ったと判定することを特徴とする請求項1記載の加熱装置。

**【請求項 3】**

前記制御手段は、前記被加熱部材の状態の変化があったことを判定した場合は前記コイルへの電力供給を停止することを特徴とする請求項1または2記載の加熱装置。

**【請求項 4】**

前記磁束検知手段は、磁束により電圧または電流を発生させるアンテナで構成されることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の加熱装置。

**【請求項 5】**

請求項1～4のいずれか1項に記載の加熱装置を備え、前記加熱装置を用いて、記録材の未定着画像を定着させることを特徴とする画像形成装置。

**【請求項 6】**

前記加熱装置における前記被加熱部材は、定着ベルトであることを特徴とする請求項4記載の画像形成装置。